

エヌ

ディー

オー

みんなの市民活動

シリーズ

17

やりたいことを見つけないで
子どもの居場所を考える会

現在、学校に通う児童・生徒を取り巻く環境は非常に多様化しています。その中で、不登校に陥ってしまう子どもたちも少なくありません。

今回は、そのような子どもたちの不安や苦しみを少しでも和らげようと活動してみえる「子どもの居場所を考える会」をご紹介します。会の代表の原順子さんにお聞きしました。

——この会を発足されたきっかけは何ですか。

二年前、小学二年生の息子が突然「学校に行かない」と言い出したことで不登校について考えるようになりました。

そこで、不登校を治療の対象にするのではなく、その子の生き方として受け止め、学校ではない学びの場、学校へ行かない仲間がいる場として、少しでもホッとできる場所が提供できればと思いこの活動を始めました。

——普段はどのような活動をされているのですか。

週に一回程度の会合を基本として、お花見やハイキング、クリスマスパーティーなどの行事や保護者同士での話し合いを行っています。

その中で、不登校の原因を追求するのではなく、子どもたちが自分のやりたいことをし、自分らしさを出していける場所にしていくことで、これから何ができるかを考えられるようになればと思っています。

——活動を通して、子どもたちに変化はありますか。目に見えた変化はなかなかありませんが、中には、この

会の仲間と知り合うことで、「悩んでいるのは自分だけではない」という安心感を得て、高校の通信教育を受けたり、アルバイトを始めた子もいます。

——これからどんな活動をしていきたいですか。

将来的には、不登校児童だけでなく子ども全体の活動に輪を広げ、子どもたちが主体となるような会にしていきたいと思っています。

「子どもの居場所を考える会」では、ふれあいコンサートを開催します。NHK交響楽団の篠崎史紀さんによるバイオリン演奏やトークをはじめ、子どもたちによる表現活動も上演予定です。

日時 七月三〇日(日) 午後一時三〇分 場所 くぬぎの木在宅介護支援センター(赤水町) 入場料 五百円

「子どもの居場所を考える会」についてのお問い合わせは原順子さん(☎31-0503 ホームページアドレス <http://www.w.smileforever.gr.jp>)へ。

NPOに関する問い合わせ先…市民生活課NPO担当(☎54-8117)へ。

広報

文芸

短歌

戸川晴子選

乗り遅れ鄙の駅舎にただ一人
桜だよりのシール数ふる

大井手三丁目 月野 萩子

茄子植える吾の頭上に山鳩の
ひとしきり鳴きて飛び去りゆ
けり 山之二色町 服部小ふさ

残雪の朝明溪谷登りゆく冬枯
れごもり春は未だし

高花平四丁目 山本美智子

満開の桜の下に青々と芽出し
初めたる菊苗を挿す

北町 佐脇昭子

厨房に入るを拒みし妻の逝き
独り居に慣れて今朝も米研ぐ

山村町 加藤武雄

俳句

西條真智生選

鯉のぼり一族誰れも名をなさ
ず 川島町 山中てる子

鯉のぼり連ね川風休まれず
川尻町 林圭子

黄砂降る明日香の村の古墳
跡 高花平一丁目 小川つた子

父の日の父に何あるさんぞ降
り 尾平町 富田富美子

距離保つ声をかけあひ蔵狩
桜三丁目 中尾久子

川柳

保地桂水選

説明はできぬが母のかくし味
笹川八丁目 伊藤浩

今もまだ水車の廻る我が故郷
大字東阿倉川 平塚広一

おなじみの顔が揃った午後七
時 青葉町 駒田昭子

用件を忘れてしまう長電話
八千代台三丁目 森谷安子

一陣の風撫で通り牡丹咲く
桜町 森田棟春

